

【概況】

1 内政

- (1) 人民権力県議会議長との会合の開催
- (2) 人民権力全国議会第9立法期第1通常会期の開催
- (3) 閣僚評議会の開催

2 外交

- (1) スケリット・ドミニカ国首相の来訪
- (2) ドラミニニズマ南アフリカ大統領府大臣の来訪
- (3) ギラルテ共産党政治局員の中国訪問
- (4) リ・スヨン北朝鮮労働党中央委員会副委員長の来訪
- (5) ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長のジャマイカ訪問
- (6) ギラルテ共産党政治局員のベトナム訪問
- (7) 米国・キューバ第4回法執行対話の開催
- (8) 米国・キューバ移民協議の開催
- (9) ゴンザルベス・セントビンセント及びグレナディーン諸島首相の来訪
- (10) サンパウロ・フォーラム第24回会合の開催
- (11) マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣の米国訪問
- (12) ロドリゲス外務大臣のニカラグア訪問
- (13) パルミエリ米西半球局担当国務次官補代行の来訪
- (14) ル・ドリアン仏欧州・外務大臣の来訪
- (15) オルギン・コロンビア外務大臣の来訪

【本文】

1 内政

- (1) 人民権力県議会議長との会合の開催

7日、人民権力全国議会において、ディアスカネル国家評議会議長、サルバドール・バルデス同第一副議長、エステバン・ラソ人民権力全国議会議長と、各県人民権力県議会議長との会合が開催された。同会合では、予算管理、国民から提起された問題への対処、各県における行政管理などについて話し合われた。

- (2) 人民権力全国議会第9立法期第1通常会期の開催

21日、人民権力全国議会第9立法期第1通常会期が開催され、同日、閣僚評議会メンバーが承認された。閣僚評議会副議長にチャップマン前水資源庁長官及びモラレス保健大

臣が昇格した（それぞれ大臣職からは外れた）ほか、全26大臣職のうち10名が、そのほとんどは第一次官が大臣へ昇格する形で人事が変更された。

（3）閣僚評議会の開催

25日、ディアスカネル議長出席の下、閣僚評議会が開催され、交通事故防止、労働者の人材育成、砂糖収穫などについて議論が行われた。

2 外交

（1）スケリット・ドミニカ国首相の来訪

3日、ルーズベルト・スケリット・ドミニカ国首相はキューバを訪問した。

ミゲル・ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長との会談では、良好な二国間関係及び二国間・地域の課題について意見交換した。スケリット首相はキューバによる協力、特にドミニカ国を襲ったハリケーン・マリアからの復興事業における救助隊、医師、建築家、専門家による支援に対して、キューバ国民及び政府への謝意を重ねて表明した。一方、ディアスカネル議長は兄弟国であるドミニカ国への支援を継続する意志を再確認した。同会談には、キューバ側からブルーノ・ロドリゲス外務大臣が、ドミニカ国側からマシュー・ジョセップ・ウォルター駐キューバ大使が同席した。

（2）ドラミニニ＝ズマ南アフリカ大統領府大臣の来訪

4日、ヌコサザナ・ドラミニニ＝ズマ南アフリカ大統領府大臣（監視・評価担当）はキューバを訪問した。

ロドリゲス外務大臣との会談では、良好な二国間関係、様々な分野における協力及び同協力拡大のための制度等について話し合うとともに、地域・国際情勢についても意見交換した。同会談には、南アフリカ側から Thaninga Pandit Shope-Linney 駐キューバ大使が、キューバ側からジセラ・ガルシア・リベラ外務省サブサハラ・アフリカ局長がそれぞれ同席した。

また、ドラミニニ＝ズマ大臣はキューバ滞在中、南アフリカの指導者故ネルソン・マンデラ氏生誕100周年記念行事に出席し、キューバにおいて5年生を修了し専門課程を修めるために帰国する南アフリカ人医学部生700名を見送った。

（3）ギラルテ共産党政治局員の中国訪問

ウリセス・ギラルテ・デ・ナシミア共産党政治局員兼キューバ労働者連合（CTC）事務局長（注：国家評議会委員でもある）は、中国を訪問し、中央政府の本部がある中南海にて、楊潔チ・中国共産党中央政治局委員兼中央外事工作委員会弁公室主任と会談した。会談の中で、ウリセス政治局員は中国訪問に満足の意を表するとともに、中国の「一帯一路」構想が発展途上国に対する重要な機会を提供する、包摂的な取り組みであると評価し

た。一方、楊潔チ政治局委員は、両国が共産党の指導する社会主義国家であることによる、二国間及び国際社会において中国とキューバを結ぶ共通点を強調するとともに、キューバが西半球において中華人民共和国と外交関係を結んだ最初の国であったことも強調した。

また、ギラルテ政治局員は、山東省も訪問し、Xing Shanping 中国共産党山東省常設委員会委員兼山東省統一戦線工作部長と会談した。会談の中で、Shanping 委員は山東省としてキューバとの関係を緊密化する用意がある旨表明するとともに、中国の国内総生産の16%を占め、1億人以上の人口を擁する山東省は、キューバと緊密な関係を有する Haier 社や Inspur 社などの重要な企業の本社があることを強調した。

また、ギラルテ政治局員は発電施設関連企業及び「Linuo」社のソーラーパネル工場など、重要な経済団体を訪問した。

(4) リ・スヨン北朝鮮労働党中央委員会副委員長の来訪

5日、ラウル・カストロ共産党第一書記兼革命軍司令官は、金正恩・北朝鮮労働党委員長のメッセージを携えたり・スヨン中央委員会副委員長の表敬を受けた。友好的な会談において、両国国民、党、政府間の伝統的な友好の絆と素晴らしい関係が表明された。

また、7日、ディアスカネル国家評議会議長は、リ副委員長の表敬を受けた。双方は、共通関心事項及び国際場裡のアジェンダについて意見交換した。また、リ副委員長はディアスカネル国家評議会議長に金正恩・労働党委員長からのメッセージを伝達するとともに、北朝鮮労働党中央委員会総会で承認された経済・社会に係る目標に言及した。最後に、両者は両国国民、党、政府間の絆の強化継続を確認した。

さらに、9日、ロドリゲス共産党中央委員会政治局員兼外務大臣は、リ副委員長と会談した。両者は両国国民、党、政府間を結ぶ友好と協力の歴史的関係及び国際場裡の共通関心事項について意見交換した。北朝鮮側から Ri Chong Gun 労働党国際部副部長、Pak Chang Yul 駐キューバ大使、キューバ側からブランコ外務省アジア大洋州局長が同席した。

(5) ディアスカネル国家評議会議長のジャマイカ訪問

5日から6日、ディアスカネル国家評議会議長は、カリコム首脳会合第39回定期会議に出席するため、ジャマイカを訪問した。

ディアスカネル議長は、キューバとカリコムの4カ国との外交関係樹立45周年により特別に招待され、カリコム首脳会合第39回定期会議に出席した。同会議の中で、ディアスカネル議長は、キューバとカリブ諸国の友好関係を強調する演説を行った。

また、ディアスカネル議長は、ホルネス・ジャマイカ首相と会談した。会談の中で、ホルネス首相はディアスカネル国家評議会議長の国家評議会兼閣僚評議会議長就任への祝意及びキューバが常にカリブに対し実施してきた連帯への謝意を表明し、カリブの首脳を代表してディアスカネル国家評議会議長の訪問に満足の意を表した。一方、ディアスカネル国家評議会議長は、代表団への歓迎及び歓待に謝意を表すとともに、1972年にジャマ

イカが、米国による制裁にも関わらず、バルバドス、ガイアナ及びトリニダード・トバゴとともにキューバとの外交関係樹立を決定したことに謝意を表した。

さらに、ディアスカネル議長は、モイーズ・ハイチ大統領とも会談した。会談の中で、両者は、水力分野、ハイチの空港の近代化、学生への奨学金といった、共通のプロジェクトについて意見交換した。

(6) ギラルテ共産党政治局員のベトナム訪問

ギラルテ共産党政治局員兼キューバ労働者連合（CTC）事務局長は、中国に続き、ベトナムを訪問した。ギラルテ政治局員兼事務局長は、Bui Van Quang ベトナム労働総連合事務局長と会談し、相互の総会に代表団を派遣することで合意した。また、ギラルテ政治局員は、Truong Thi Mai ベトナム共産党政治局員兼ベトナム・キューバ友好議員連盟会長とも会談した。

(7) 米国・キューバ第4回法執行対話の開催

10日、ワシントンにおいて、米国・キューバ第4回法執行対話が開催された。同対話は2017年9月15日に同地にて行われた対話の継続である。この意見交換の目的は法の執行・遵守に関する二国間協力を調整し、テロ、違法麻薬・人身取引、サイバー犯罪などの二国間の安全保障への脅威となる様々な問題への対抗措置を進展させるためである。

同対話の中で、キューバ側は米国政府に対し、多くの人々が必要としている領事業務を始めとする両大使館の機能に影響を与えている新たな一方的措置を講じる口実となっている、健康問題案件という継続的な政治的不正操作を放棄するよう強く求めた。また、両者は本件対話を継続し、二国間協力を具体化するため両国の法の執行・遵守に係る機関間の技術会合の実施を続けていくことに合意した。キューバ側から内務省、外務省、法務省、会計検査院及び税関関係者が、米国側から国土安全保障省、司法省、国務省関係者が、それぞれ出席した。

(8) 米国・キューバ移民協議の開催

11日、ワシントンにおいて、米国・キューバ移民協議が開催された。キューバ側はカルロス・フェルナンデス・デ・コシーオ外務省米国総局長、米国側はガブリエル・エスコバル国務省キューバ部長が代表を務めた。協議の中で、双方は、2017年1月12日に署名された共同宣言、特に「ドライフット・ウェットフット」政策及び「キューバ医療専門家のためのパローレ計画（注：臨時入国プログラム）」を廃止したことによる不法移民の減少による利益を認識した。同時に、2018年1月に行われた沿岸警備隊間の意見交換及び2017年12月に行われた人身取引・不法移民に関する技術会合の有用性でも一致した。

(9) ゴンザルベス・セントビンセント及びグレナディーン諸島首相の来訪

13日、特別招待されたサンパウロ・フォーラム第24回会合に出席するためキューバを訪問したラルフ・ゴンザルベス・セントビンセント及びグレナディーン諸島首相は、ディアスカネル国家評議会議長と会談した。会談の中で、ゴンザルベス首相は、2日に同国に開設された統合診断センターへのキューバからの支援に謝意を表明した。

(10) サンパウロ・フォーラム第24回会合の開催

15日から17日、ハバナにてサンパウロ・フォーラム第24回会合が開催された。同会合には、エボ・モラレス・ポリビア大統領、サルバドル・サンチェス・セレン・エルサルバドル大統領、ニコラス・マドゥーロ・ベネズエラ大統領などが出席した。

17日には、マドゥーロ大統領をラウル・カストロ共産党第一書記が見送った。

(11) マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣の米国訪問

15日から20日、ロドリゴ・マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣は、持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラム（HLPF）に出席するため、ニューヨークを訪問した。

マルミエルカ大臣は、アミナ・モハメド国連副事務総長と会談したほか、国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（ECLAC）議長として、第2回持続可能な開発に関するラテンアメリカ・カリブ諸国フォーラム会合に関する講演を行った。

(12) ロドリゲス外務大臣のニカラグア訪問

19日、ロドリゲス外務大臣は、サンディニスタ革命39周年記念式典に出席するため、ニカラグアを訪問した。ロドリゲス大臣は、同式典でラウル・カストロ共産党第一書記及びディアスカネル国家評議会議長からの祝辞を代読し、サンディニスタ党及びオルテガ大統領への無条件の支持を表明した。

(13) パルミエリ米西半球局担当国務次官補代行の来訪

25日、フランシスコ・パルミエリ米西半球局担当国務次官補代行がキューバを訪問し、カルロス・フェルナンデス・デ・コシーオ外務省米国総局長と会談した。会談では、駐キューバ米国大使館員の健康被害について意見交換が行われた。

(14) ル・ドリアン仏欧州・外務大臣の来訪

28日、ロドリゲス外務大臣は、ジャン＝イヴ・ル・ドリアン仏欧州・外務大臣と会談した。会談の中で、両外相は政治的・外交的対話を拡大し、外務当局間の協議制度を継続していく意志を再確認した。同時に、経済・貿易、投資、大学、科学技術、文化、スポーツ等の分野における交流深化の可能性についても言及がなされた。また、現在の国際情勢

に関する様々な点についても取り上げられた。ロドリゲス外務大臣は、キューバ・欧州関係の発展に果たした役割及びキューバに対する経済・貿易・金融封鎖への反対の立場について、フランスに謝意を表明した。フランス側からブルーノ駐キューバ大使、ドレ欧州・外務省米州・カリブ局長、ブルエル同省文化外交・影響力・フランス語圏担当参事官が、キューバ側からロサダ外務省二国間政策総局長、レジエス多国間問題・国際法総局長、ロドリゲス駐仏大使、ソト外務省欧州・カナダ局長がそれぞれ同席した。

また、ディアスカネル国家評議会議長は、ル・ドリアン大臣の表敬を受けた。表敬では、両者が良好な二国間関係を強調し、高いレベルでの政治的対話を継続していく意志を表明すると同時に、好調な貿易・経済及び協力関係を強調しつつ、エネルギー、交通、建設等、キューバ経済のさまざまな分野における仏企業の成長する役割を評価した。さらに両者は国際情勢に関する関心事項についても対話した。フランス側からドレ局長、ブルエル参事官、ブルーノ駐キューバ大使が、キューバ側からロドリゲス外務大臣、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣、ロドリゲス駐仏大使がそれぞれ同席した。

(15) オルギン・コロンビア外務大臣の来訪

29日、コロンビア政府と国民解放軍（ELN）間の第6回和平交渉に出席するためキューバを訪問したマリア・オルギン・コロンビア外務大臣は、ロドリゲス外務大臣と会談した。